

主な活動の紹介

支援活動の中から、大島中学校区の小・中学校が連携した取組を中心に紹介します。ここでは各校の校内・地域のコーディネーターが連絡・調整を行いながら取り組みました。

■活動事例1「剣舞」～僧 月性の志に学ぶ～

大島遠崎地区には、幕末の僧、月性の剣舞が伝わっており、例年中学2年生は3学期の立志の集いと体育祭で披露しています。8月と1月に、地元の剣舞保存会の方から御指導いただいています。

遠崎小学校においても、月性や剣舞の学習は、郷土を学ぶ良い機会となっています。この取組は、平成25年度に新設される大島小学校においても引き継がれる予定です。



地元保存会による剣舞指導

■活動事例2「トイレ掃除に学ぶ」～キャリア教育の一環として～

中学校のキャリア教育の実践の1つであるトイレ掃除を、校区の3小学校と大島駅、大島総合センターで行いました。小学校では、今年度末で統廃合される母校のトイレを小学生とともに一生懸命きれいにしました。

小学生には、トイレがきれいになった達成感と素手で黙々とトイレを磨く中学生の姿がとても印象深いものでした。



母校のトイレを共にきれいに

■活動事例3「行灯づくり」～郷土の魅力を再発見する～

大島商工会の御指導のもと、8月11日に大島センター前で開催される鳴門海姫祭りに向けて、郷土に伝わる般若姫伝説を踏まえた行灯づくりを授業で行いました。児童生徒みんなの夢や願いをこめた行灯は、祭り当日会場に展示され、夏の夜に鮮やかな彩りを添えました。



商工会による制作指導



夏の夜空を彩る行灯

■活動事例4「幼児とふれあう会」～将来の親への心構え～

3年生家庭科保育学習の一環として、ふれあいタウン大島にて、乳幼児とその保護者とのふれあい活動を行いました。当日は、地域の母子保健推進員さんや食生活改善推進員のみなさんが支援してくださいました。

10年後には親になっている人もいるかもしれない3年生が、幼児に対し優しさあふれる笑顔で接している姿がとても印象的でした。



幼児との楽しいふれあい

成果と課題

【成果】

地域の方々による学校支援ボランティア活動が日常的に行われ、児童生徒は地域に支えられているという実感を持ち、ふるさと大島に生きていることに自信と誇りを感じてきています。また、地域の大人と出会うことは、様々な生き方を学ぶ良い機会となっています。

【課題】

学校の教育的ニーズと地域の支援者とのニーズ（願い・思い）のマッチングが一番の課題です。そのため、学校支援活動の調整の核となる校内コーディネーターと地域コーディネーターの連携が重要となります。また、より充実した活動のために支援者の拡充と確保、とくに若い世代の参画の機会を増やす必要があります。

今後の取組

これまでの取組の成果と課題を踏まえ、今後は以下の取組を実施したいと考えています。

- ① 次年度から小学校の統廃合を踏まえ、小・中学校が一貫した教育をより進めるため、校区で育てたい子どものイメージを共有し、全体の調整・連絡を行うコーディネーター機能を強化していく。
- ② 多くの地域人材の参画と活動機会の充実を図る。（特にPTA等若い世代の参画を図る）
- ③ 学校情報の積極的な公開と地域情報収集を図る。

以上3点を中心に、学校と地域が双方向で連携し、ふるさと大島を愛する児童生徒を育てていきたいと思ひます。

